



# 平戸梨丘

発行：横浜市立平戸中学校 校長 阿部 亮一  
横浜市戸塚区平戸町993-4 TEL045-823-8272

## 「考える楽しさ」を実感できる学校生活に・・・

こうちょう あべ りょういち  
校長 阿部 亮一

記録的な猛暑が続く中、夏休みが終わり、8月28日(月)から学校生活がはじまりました。子どもたちにとって、宿題や部活動、自由研究などは大変だったかもしれませんが、様々な夏休みの出来事を久しぶりに会う友達や先生たちと楽しそうに話をしている子どもたちの姿が印象的でした。またコロナ禍で中止が続いていた各地域の夏祭りが多く開催され、温かく子どもたちをお迎えいただき本当にありがとうございます。地域の中で育つ子どもたちにとって、地域の方々とのおふれあいはとても貴重な経験であり、子どもたちの成長に大きな影響を与えてくれていると改めて実感しました。また、このような地域活動に参加することは、防災における「共助」につながると思います。これからは職場体験学習や職業講話など、地域の方々にお世話になる機会があります。今後ともよろしくお願いたします。

さて、今年の夏は「世界水泳」や「世界陸上」、そして沖縄で行われている「FIBA バスケットボール・ワールドカップ」など、たくさんのスポーツ大会が開催されました。日本人選手の活躍もさることながら、最後まであきらめず、全力を尽くす選手から勇気と感動をもらったように思います。そして記憶に新しいのが、甲子園で行われた「全国高等学校野球選手権大会」でした。神奈川代表の慶応高校の優勝で幕を閉じた大会でしたが、慶応高校の「エンジョイ・ベースボール」に代表されるように、野球を楽しんでいるチーム、選手が印象的でした。また、ある高校の監督がお話していた「考える野球」という言葉が記憶に残ります。それは子どもたち自身が自ら練習メニューを考え、指導内容等について仲間同士で話し合うことで、子どもたち一人一人が納得して練習に向き合うチームづくりをしているというお話でした。考えることが、子どもたちの成長につながる素晴らしい取組だと思えます。子どもたちがこれから活躍する社会は「予測困難で複雑な社会」だと言われています。その中で「自分らしく」「社会に貢献しようとする資質・能力」を身につけるには、「考える楽しさ」を学習場面だけでなく、学校行事や部活動など学校生活を含め、日常生活の中で多く経験していく必要があります。そしてもう一つ子どもたちに大切にしてほしいことがあります。それは、様々な考えを仲間と共有するためのコミュニケーション力を身につけることです。10月には、梨丘祭があります。合唱コンクールや学習発表会を創り上げていくには、まさに「考える楽しさ」をみんなで実践していくことが重要になります。子どもたちには、これからの学校生活を通して、学年や学級、そしてチームの一員として仲間と一緒に悩み、考え、行動し、大きく成長することを期待しています。ぜひご家庭でも、お子様と「考える楽しさ」についてお話ししていただければ幸いです。

令和5年度も半ばにさしかかり、10月から後期がスタートします。これからは本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。